

日本労働年鑑 1951年版(第23集)

The Labour Year Book of Japan 1951

第二部 労働運動

第二編 労働組合運動

第七章 主要な労働組合の現状

全日本造船労働組合

全日本造船労働組合(全造船)

(All Japan Shipbuilding Workers Unions:S.W.U.)

◇結成 一九四六年九月一日

◇所在地 東京都渋谷区原宿三ノ二九八 電話赤坂(48)三二六四

◇加盟機関 全労連 大金属

◇組織(労働省調)

〔組合数〕 〔組合員数〕 〔所在地〕

北海道支部	五	三、五三八	函館市机影町一
東北支部	一二	一、七六〇	塩釜市杉八表七二ノ四
関東支部	一一	二一、七二六	横浜市西区高島通一ノ一
東海支部	八	三、三六一	清水市三保塚間三九五
北陸支部	四	一、三三一	富山市古苗代労働会館内
近畿支部	一八	二五、五九二	大阪市浪速区東神田町八七三

中国支部

山陰地区協議会 九 九九〇 松江市御手船場町五六一

四国支部 七 六七九 高知市種崎土佐造船

九州支部 一一 一四、一九九 長崎市飽之浦町一丁目

直結単位組合 一三 一六、二〇五

総計 九八 八九、三八一

◇役員

中央執行委員長 大宮壮三郎

◇機関紙「ゼンセン」旬刊B4二ページ

◇第九回定期大会(一九四九、一一、三)決定の運動方針要旨

一、生活権を闘いとれ—実質賃金の向上と最低賃金制の確立

二、労働者の権利を守れ—労働協約闘争から積み上げ労働立法の改正を積極的に闘う

三、産業の破かいを防げ—職場委員会を作って企業管理を行い資本家的再建方式にまき込まれることなく設備をよくし安全を保ち、生産増強の条件を確保し職制の不正を摘発する、中小企業の労働者の生活を守り、中小企業者をして闘争の中から独占資本に対する共同闘争を組織する

四、組合を分裂から守れ—ファシズム化した独占資本とその政府は政治、経済、宣伝等あらゆる機関を握って弾圧と挑発とで組合を分裂させようとしている、また組合内部の悪質分裂主義者に対しては徹底的に排撃して相互批判の中から組合の組織を守り、労働戦線の統一強化をはかる

日本労働年鑑 第23集/1951年版

発行 1951年1月1日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 時事通信社

2000年2月15日公開開始

